

# 名古屋学院大学

## 2026 年度一般選抜 出題の意図

試験区分	一般入試（前期）
試験日	2月1日
科目	国語

### 設問 I

設問 I は、稲垣久和『「働くこと」の哲学』を題材としました。題材文は西欧における労働観や価値観の変化を背景として、資本主義イデオロギーがどのように成立してきたのかを論じています。本設問では、このような思想の移り変わりという抽象度の高い内容について、文脈を踏まえて適切に読み取る力を測ることを目的としています。そのため、一読しただけでは理解しにくい箇所に着目し、その意味や背景をどのように解釈するかを問う問題を出題しました。

### 設問 II

設問 II は、伊東亜紗『手の倫理』を題材としました。著者は「さわる」と「ふれる」の対比から、身体的・接触的なコミュニケーションの倫理のあり方を探ろうとしています。各設問のおもな目的は、「さわる」「ふれる」という他者への態度についての通常理解から離れて、哲学的に論理を組み立てていく本論の文脈を読み取ることができているかを測ることです。また、一部に語いの基本的知識に関する設問も取り入れています。